

集まれヤング!

余暇を生かす—教育センター

受講生を募集中。申し込みと詳しいことは、同センター(電話2810)へ。

募集講座と学級 ■講座—料理、茶・華・書道
農業大学、農業青年教室。 ■学級—大鷲、勤
労、庄瀬、新飯田。

市税の督促料が改正 今
手数料は二十円でしたが、四
月から四十円になりました。
新条例を制定 市社会福祉
が必要と認めるとき、予算内
で助成ができます。
市の職員を削減 市長部局
の職員を十
五人減らし二百四十五人に、
教育委員会部局の職員を十三
人減らし七十人になります。
五十年度補正予算 一般会
計予算に
約一億一千六百万円の補正が
決まり、総額二十九億五千三
百三十万四千円になりました

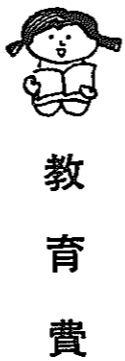
成人病予防
を重点に
保健衛生では、母子保健と成



■教育費/3億8,686万円

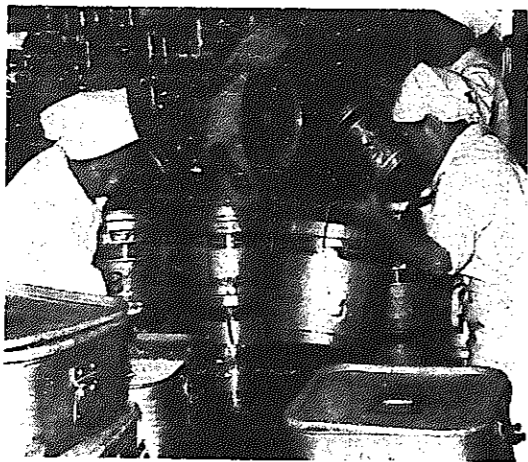
主なもの ▷学校管理費…1億7,385万円
▷教育振興費…1,886万円
▷公民館費…320万円 ▷図書館費…203万円
▷学校給食費…1,296万円 ▷社会体育費…905万円
▷教育センター管理費…1,515万円

市内全校に米飯給食
教育の充実と水準を高めるため、第一中学校の統合に引き続き、高井小、松橋小の統合を行います。
また、今後の学校統合については、今年度から諮問機関を設置して検討する考えです。それ



市内全校に米飯給食

と危険校舎の改築、木造校舎の



▲給食センターの作業

また、若い人たちが要望の多かったナイター設備を、白根小グランドに取り付け、幅広い体育活動ができるよう、施設の整備をめざします。

■衛生費/1億7,149万円

主なもの ▷予防費…497万円
▷母子センター管理費…235万円
▷環境衛生費…1,382万円 ▷公害対策費…634万円 ▷ごみ処理費…7,579万円 ▷し尿処理費…2,427万円

人病予防が重点です。そのため、各種検診の受診率の向上をめざし、病気の早期発見、早期治療に努めます。
環境衛生は、防疫薬剤の無償配布を継続し、かつ衛生思想の啓蒙をはかります。また、公害防止対策として、必要に応じては、企業側と公害防止協定を結び、環境の保全に努力します。

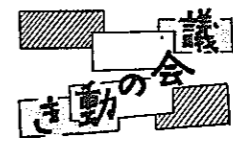
農林水産業を向上させるため、今の農業振興計画を見直し、さらに五十五年度までのものを策定します。具体的な事業として、後継者づくりのための農業大学講座を一年制から三年制にし、内容の充実をめざします。
また、うまい米産産運動の一環として集团的モデル団地をつくり、あわせて水田地力の維持向上事業を実施します。
一方、労働力の省力化と生産性を高めるため、地盤沈下事業と大は場整備事業は必要です。事業推進のため努力していきます。

農林水産業費



■農林水産業費 1億8,241万円

主なもの ▷農業振興費…1,659万円
▷稲作振興費…968万円
▷園芸振興費…663万円 ▷畜産振興費…248万円
▷水田総合利用対策費…53万円 ▷農村総合整備費…6,086万円



3月定例市議会

可決された主なものを紹介します

加藤さん名譽市民に 加藤
清二郎
さん(白根出身・七十七歳)が、名譽市民に選ばれました
市道が増えました 第一中
路をはじめ三十一路緑七、八
二二・四七路が、新しく市道
になりました。

民生費
全体予算の中でトップ
福祉電話を増設

人口の老齢化とともに、福祉充実への願いは、国民的なものとなっていきます。
限られた財政の中で、皆さんの願いを満足させることは、現実の問題として極めてむずかしいことですが、重点施策の一つとして取り組みます。
したがって、民生費予算も総額で五億円をこえ、全体予算の中でトップを占めるまでになりました。
老人対策としては、在宅老人福祉対策を重点に、老人家庭奉仕員の増員。昨年に引き続き福祉電話を十台増設し、孤独なひとりと暮らしたる人を励ましていきます。
心身障害児や障害者については、家庭奉仕員の積極的訪問、医療費の助成などを行ない、日常生活や教育などの面でよりよく過ごせるよう配慮して行きます。
このほか、児童福祉対策としては、保育所の保育内容の充実につとめるため、予算措置をしました。
生活保護世帯への援助も、従来どおり進めて行きます。

■民生費/5億4,175万円

主なもの ▷老人福祉対策費…1億830万円
▷国民年金費…2,968万円
▷児童措置費…7,462万円
▷扶助費…9,920万円

